

2004年8月10日 No.74

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤一郎

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

# 全国一般全国協

## 第14回定期大会に結集し、全国の職場から全国大会へと議論を集中し、闘う陣形を作り出そう!!



全国一般全国協 中岡委員長

出口が見えない泥

第14回定期大会は9月11〜12両日にわたって開催されることになった。全世界を席卷する新自由主義グローバルゼーションとアフガンスタンからイラクと続くアメリカによる侵略戦争。このように端的に表現される私たちが取り巻く情勢は世界と日本の労働者にかつてない過酷な状況を強いている。

資本主義のむき出しの利潤追求姿勢は巨大国籍企業の一層の肥大化を進め、またハイテク・軍需産業の反映に手を貸している。比して労働者の生活は一層破

壊が進み、景気回復というかけ声とは裏腹に一部労働者大手企業本工労働者を除いて実質賃金は減少を続け、またいつ解雇されるかもしれないと言ふ不安に脅かされている。政府統計でも所得格差の拡大は上位25%の世帯の所得が全世帯所得の75%を占めるまでになっている。非正規労働者は既に36%にも達し、女性労働者では50%を超えている。

一方、アメリカブッシュ政権の誕生と新保守主義の台頭は「対テロ」戦争という名目の下に戦争を拡大、石油資源の寡奪へと突き進んだ。しかし、アメリカの甘い目論見はイラクの人々の激しい抵抗の前に死傷者を山のようになり積み上げ、国土を破壊するままにまかせて一向に

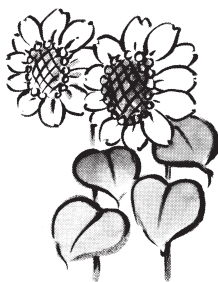
沼状況が続いている。小泉は米英占領軍の一員として自衛隊をイラクに派兵し、今多国籍軍に参加するといふ暴挙を繰り返している。そして憲法改悪へと突き進んでいる。

私たちがこの労働者にとって厳しい状況に對決し、突破するための具体的闘いの方針と体制をどう作り出していくのかを真剣に討議し、決定するものとならなければならない。

より具体的には中小零細労働者、非正規雇用労働者の生活破壊に歯止めをかける闘いをどのように取り組むのか、春闘の再建はどこから始めなければならないのかを決定することである。経験主義に縛られることなく大胆な議論が求められる。また平和のための闘い、憲法改悪を許さない闘いへ職場から議論を巻き起こして

一人でも多くの仲間の闘いを握り起こす努力をお互いに確認することである。そして今こころした闘いに私たちの組織だけに囚われないことなく、志を同じくする多くの仲間と大きく共闘を拡大し、組織を強化し、労働者の怒りを大きな奔流として政府・資本に突きつ

けていくのである。三単産共闘の一層の発展、中小労組の総結集へ向けた議論を巻き起こさなければなりません。全国の職場から全国大会へと議論を集中し、闘う陣形を作り出しましょう。



### 第14回定期大会について

日時●2004年9月11日(土) 13:00~

9月12日(日) 12:00

場所●南部労政会館 第5・6会議室

品川区大崎1丁目11-1

ゲートシティ大崎ウエストタワー 2階 (JR大崎駅南口 徒歩3分)

TEL 03-3495-4915

宿泊●浜松町海員会館 (JR浜松駅 徒歩5分)

TEL 03-3433-5688

費用●懇親会 1人5,000円

宿泊代 1人3,000円 (朝食なし)

## 全労協第16回定期大会開催

# 中岡全国一般委員長を全国事務局長に選出する



7月25日から同26日まで、静岡県熱海市において全労協（全国労働組合連絡協議会）第16回定期全国大会が開催された。大会は、単産・地方から選出された代議員、傍聴者120名を越える参加者を得て活発な討論の結果、運動方針・新役員を確立した。

大会は、全労協の特徴を反映し、拡大する雇用・賃金破壊とりわけ雇用の非正規化にともなう闘いの報告が続いた。非正規労働者の組織化の重要性が強調され「あつて良かった全労協」から「なくてはならない全労協」への飛躍が訴えられた。

大会は、子島利夫事務局長（国労）の退任を受け、我が全国一般全国協の中岡基明委員長を事務局長に選出した。久しぶりの民間出身専従事務局長として中小労働運動の特徴を生かした活動が期待されている。

6月13日から15日まで、ソウルでアジア社会運動会議が開催され、全労協代表として全国協の中岡委員長、遠藤書記長が参加した。13日の世界経済フォーラム東アジア会議抗議集会は、韓国民主労総を始めとする12000名（日本から100人）が結集、会場の新羅ホテルに向け元気なデモを展開、代表団が抗議声明を手渡した。

14、15日は高麗大学で200人（日本から75名参加）が参加、「新自由主義と戦争に対抗するアジア社会運動の課題」をテーマに全体討論、「WTOサービス協定」「食糧主権」「貧困とフォーラムレス」「非正規雇用労働者」「アジアの反戦平和」等のテーマで分科会を行なった。イラクへの「主権」移譲のまやかしを許さず、占領軍の即時撤退を求める反戦闘争の取組み、9月10日をWTOに抵抗する国際行動デーとする取組み、来年香港で行なわれるWTO閣僚会議阻止の闘いを呼びかける共同宣言を採択し、集会を終えた。

## 世界経済フォーラム東アジア会議に 対抗するアジア社会運動会議参加報告



徳島全労協森口さん、全労協大会で発言

## 改憲を許さず、国民投票法に反対しよう！

八月十五日、敗戦の日がやってくる。日本は、朝鮮・中国・東南アジアに侵略し、中国だけで二千万人以上の人々を殺した。日本人も三百万人が死んだ。その反省を込めて憲法九条が制定された。戦力の保有と交戦権が否定されたのである。しかし、今、アメリカはあろうことか、「憲法九条が日米同盟の妨げ」と言い出している。「集団的自衛権」＝日米同盟軍による侵略戦争ができない憲法九条は邪魔だというのが、これこそイラクの多国籍軍参加の帰結である。小泉政権もまた、九条改憲を狙っている。それが、今秋通常国会に上程される国民投票法であり愛国心を強要する教育基本法改悪である。我々は戦争の被害者にも加害者にもならない。今すぐイラクから自衛隊を撤退させよう。改憲を阻止しよう。地域、全国で国民投票法―教育基本法改悪に反対しよう。



6・13 ソウル労働者集会で発言する遠藤書記長



# 派遣労働者前島さん、職場復帰を勝ち取る

## 洛南合同労働組合

6月30日、京都地裁における和解で、私たちの組合員で派遣会社で働く前島さんが地域の仲間の支援もあり、不当解雇を撤回させ現職復帰を勝ち取りました。2002年11月末の解雇から1年7ヶ月、今こそ組合員です。2003年8月までは全く一人の闘いでした。和解から一ヶ月あまり経ちますが、元気に現場で働いています。

## 福岡歯科大学の雇い止め「不当解雇」との闘い

### 福岡ゼネラルユニオン

福岡西区にある福岡歯科大学は、7年間勤務していた英語非常勤講師に対して一方的に「雇い止め」を通告し、今年3月31日をもって解雇した。福岡ゼネラルユニオンは、この「雇い止め」を何の正当な根拠もない「不当解雇」と位置づけ、闘いを開始しています。

前島さんは、職場復帰にこだわり本訴を起しました。その理由を「派遣会社や作業請負会社の多くは労基署などに申告し指導してもらっても、申告者の

て様々な問題を解決したい。」と述べています。

不当解雇した富士物流は「偽装請負・違法派遣」の会社です。公判の過程で会社側は、「協調性がない」と解雇理由にしていますが全く立証できませんでした。

前島さんの闘いは、開始

彼の大学に対する貢献は大学当局、特に英語担当教授は高く評価しており、彼の経歴からは「雇い止め」の理由は全く見あたりません。

理由は今全く見あたりません。労基法14条の改訂の趣旨に反することは明らかです。そもそも有期雇用とか非常勤という雇用形態以外に就業するチャンスのない外国人労働者にとって、比較的安定した職場である大学のこつとした姿勢は重要な問題を含んでいると考えます。

今後、労働委員会や裁判官で見据えた取組を検討しています。不安定雇用労働者の権利確立のための闘いを進めていきたいと思います。

されたばかりです。洛南地域合同労組は、現場復帰を更に意義あるものとするた

め頑張ります。仲間の皆さんの支援に感謝します。

## 朝日広告支部、解雇無効の仮処分勝ち取る！

### 宮城合同労働組合

朝日新聞の広告部門の子会社、東日本朝日広告社はこの2〜3年間、中高年労働者を成績不良などの理由

でメチャクチャ首を切ってきた。30年間、幾度も表彰を受け続けてきた阿部組合員に対してもあらゆる言い

## 東北環境整備支部の一方的賃金カット裁判が勝訴！

### 宮城合同労働組合

会社は1999年4月からの賃金を一方的に10%カット。抗議した組合員への仕返しとして鈴木支部長を懲戒処分。この処分に対して、地労委が救済しなかったため地裁に行政訴訟を行い組合が勝訴。そして10%カットの回復の裁判が3年がかかりで行われてきたが、去る6月4日、仙台地裁が一方的賃金カット無効の判決を下した。付言すれば併せて提訴していた労働時間延長については地裁が労働契約の変更と認定せず、訴えが認められなかった。会社は

バックペイを拒否し控訴を行った。闘いは続いている。



◀全労協大会で物販を訴える大塚労組(木森副委員長)

# 大塚製薬労組の物販に協力を！



寄稿

# 本四架橋の雇用保障の闘い

全港湾徳島支部徳島ハイウェイサービス分會

分會長 平岡 秀志

全港湾四国地本は、明石・鳴門大橋の開通にともない職場を奪われた港湾労働者の雇用保障のため、昭和59年12月に第三セクター方式の「徳島ハイウェイサービズ株式会社」を設立させ、料金収受の職場を勝ち取った。

その後、順調に港湾の離職者が受け入れられ、現在、組合員30数名を要する会社として成長してきた。

しかし、憎むべき小泉構造改革による民営化の波は本四公団にも襲い掛かり、

来年秋には民営化されることとなった。民営化にあたり、会社は公団より3割コスト削減をせまられ、文字通り生き残りをかけた闘いを展開している。この労働者を圧迫する資本の攻撃は、さらに「ETC」という自動料金収受システムの導入で職場そのものを消滅させる方向に向っている。

我々は、本四架橋により職場を奪われた労働者を、再び離職させることがないよう全力で闘う決意である。

寄稿

# 首都ハイウェイ共闘の04春闘報告

ハイウェイ共闘 栄谷

今年1月に首都高速道路公団の委託管理費34%削減(14年度比、17年度までの

3年間)が打ち出され、その数字がそのまま委託先労働者(料金収受)の賃金削減に直結するという状況のもとに、私たちの04春闘が始まった。その数字に経済的社会的な理由などどこにも存在せず、まさに来年秋の道路



関係4公団の民営化に向けての政治的パフォーマンスであった。大半が60歳を越え、ETC(料金自動収受システム)の導入で安全対策ゼロの職場(昨年1月南部の組合員が重傷、他公団では3件の死亡事故)、頻発に起きるETC機器の誤作動などユー

ザーとのトラブルで心身ともに限界に達している職場実態。ストライキをちらつかせ、「これで生活できるか!」怒号がとびかう団体交渉で経営側は、顔面蒼白の状態。7月半ば、労使共に組織の存亡を賭けた交渉の結果、来年に繋がる「賃金ダウンの縮減」を勝ち取った。

## 福岡ゼネラルユニオン 第5回 大会を開催、新たなスタートへ!

福岡ゼネラルユニオン書記長 川口 英治

7月3日(土曜日)、福岡ゼネラルユニオンは第5回大会を開催しました。

参加者は、外国人のメンバーを含めて30人。FGUを応援してくれる地域の仲間や、大阪からはゼネラルユニオン委員長山原さんも駆け付けてくれました。英語がメイン。参加してくれた日本人の仲間はネイティブスピーカーの英語の速さに振り回されていました。外国人のメンバーからは積極的な意見が次々出され活発な討論が重ねられました。これまでの5年間の経験をバネにして、第一に労

ザーとのトラブルで心身ともに限界に達している職場実態。ストライキをちらつかせ、「これで生活できるか!」怒号がとびかう団体交渉で経営側は、顔面蒼白の状態。7月半ば、労使共に組織の存亡を賭けた交渉の結果、来年に繋がる「賃金ダウンの縮減」を勝ち取った。

.....

働組合の組織としての力をつけること、そのための財政をどのように維持確保して行くのか。地域に私たちの存在を知らせるための情宣活動をどのように展開して行くのか。外国人労働者の生活と権利を確立するためには問題が起きてから相談を受けるのではなく、問題が起きる前に組合員として組織し、深刻な事態に直面する前に問題を解決できる力と組織が必要であることなど、これまでの各メンバーの経験をともに、論議が深められました。

二オンは、1999年7月1日、3人のメンバーからスタートしました。福岡大学で働く外国人講師の雇用の適用を求めて闘いを開始しました。日本人には当たり前前の雇用保険すら、様々なこじつけられた理由により外国人が疎外されている現実。この現実をかえることの困難さを痛感しながら、一方では、やればなんとかなると言う自信も生まれた取り組みでした。その後は、様々な労働相談を、一つ一つ手探りの中で取り組み、徐々に地域でも認知され、労組員が少しずつ増えてきました。特徴的なのは、インド人シェフの解雇争議、ナイジェリア人の未払い賃金、メキシコ・キューバ人サーカス団員の1000万円もの未払い賃金、Love FMでの不当解雇、英会話学校の不当解雇、ペルー人労働者の労働補償と不当解雇、大学での雇止めなどなどです。どれ一つとっても前例も経験したこともないことばかりでしたが、いまにしてみればこうした経験の一つ一つが試金石であったように

思います。

今大会のもっとも重要な課題は、自立した労組運営を担う執行部体制の確立でした。様々な論議の末、執行委員長はその場で無記名投票となりました。選出されたのは、北九大で英語を教えているステファニー・ホートン。女性の執行委員長が新たな船出の舵取りを担うことになりました。ステファニーを支えるために、3名の副委員長が就任しました。3名とも大学で英語を教えており、すでに日本での生活も長く、今後日本に生活の基盤を築いていこうとしているメンバーです。

私たち福岡ゼネラルユニオンの闘いはまだまだ始まったばかりですが、この第5回大会の成功を受けて、これからの5年へ向けたワンステップを踏み出すことが出来たと思います。これからも、FGUを応援してくれる地域の仲間と共に、「びおとーぶ」を拠点に闘いをすすめて行きます。これからよろしくお願います。